

## 【子育て世代ワークショップ】

### 第3回ワークショップ（未来に向けて重点的に取り組むべきこと）

#### ① プログラム

時間進行	当日の流れ
9:30~9:40	開会、オリエンテーション
9:40~11:40	ワークショップ ・ さいたま市の魅力と課題 ・ さいたま市が今後10年で優先的に取り組むべきこと
11:40~11:45	発表、閉会



## ② グループワークの結果

### 《グループ1》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 大宮駅の交通の便</li> <li>• 交通の便が非常に良い（新幹線も停車）</li> <li>• 駅前の整備が進んでおり、バリアフリー化もしている</li> <li>• 公園や病院が多い</li> <li>• 中学3年まで医療費が無料</li> <li>• 小中学校の学舎の耐震化が進展している</li> <li>• 観光客が少なく、日常的に安定している</li> <li>• 住みやすい</li> <li>• 災害に強い気がする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 土地活用できていない所がある</li> <li>• 道路整備が進んでおらず、交通事故も多い</li> <li>• 都市公園、スポーツ施設が少ない</li> <li>• 大学、企業の立地数が少ない</li> <li>• スーパーマーケットの数が少なくなっている</li> <li>• 商業施設が集中した場所にしかない</li> <li>• 観光場所が栄えていない</li> <li>• 「さいたま市民」という意識があまりない</li> <li>• 地域のつながりが希薄</li> </ul>
<b>必要な取組み</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 電車とバスと歩行者のECOな取組</li> <li>• 土地活用</li> <li>• 道路整備（車等）</li> <li>• 歩道を拡張や自転車レーンの創設</li> <li>• 公園の遊具を増やす</li> <li>• 自然との共生（荒川・見沼田んぼでそれに関するイベントを開催する）</li> <li>• 企業誘致（さいたまに働きに来てもらう）</li> <li>• 観光地周辺の活気を出す</li> <li>• 地域間の距離が縮まる情報発信（LINEなどを利用）</li> <li>• 自然を活かす取組を増やす（見沼田んぼとか）</li> <li>• アプリなどでさいたま市の取組を発信する</li> <li>• 住みやすさをさらに住みやすく</li> </ul>	

《グループ2》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>• イベントが多い</li> <li>• 住みやすさを市民が実感できている</li> <li>• 夢を持った若者が多い</li> <li>• 特定のスポーツが盛んで、そのことに対して市民が誇りを持っている</li> <li>• 教育水準が高い</li> <li>• 子どもを育てる環境が整っている</li> <li>• 交通機関の選択肢が多い</li> <li>• 水道インフラが強い</li> <li>• 大きな自然災害が少ない</li> <li>• 病院が多い</li> <li>• 公園など緑が適度にある</li> <li>• 関東平野と大宮台地</li> <li>• 完璧な行政</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域・学校・自治体のつながりが希薄</li> <li>• 地元企業との連携</li> <li>• 地域商店街と住民の距離</li> <li>• 公共施設（図書館・スポーツ）が少ない</li> <li>• バスの利便性が低い</li> <li>• 観光スポットはあるが、アピール不足のために認知度が低い</li> <li>• ごみの排出量が他地域よりも多いため、エコに対する意識が低い</li> <li>• 入込観光客数が他都市と比較して少ない</li> <li>• 道路交通（東西）が弱い</li> <li>• 10区を活かせていない</li> <li>• 経済都市としての理解</li> <li>• 埼玉・都民への政策がない</li> <li>• 街に理念がない</li> </ul>
<b>必要な取組み</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地元帰り出来る場づくり</li> <li>• 観光・日本遺産まちづくり</li> <li>• 教育へのコンセプト（英語）</li> <li>• 公共交通を実態に合ったものにする</li> <li>• ブランディングコンセプトづくり</li> <li>• 市民向け・市民を見たメディアづくり</li> <li>• 情報発信（目的・対象を明確にした物）</li> <li>• 情報発信の仕組みづくり（情報インフラと併せて）</li> <li>• 行事開催の目的（市民・区民への訴求、発信力）</li> <li>• 一方的でない、コミュニケーション手段の確立</li> </ul>	

- 情報発信のやり方
- 関わってもらえるまちづくり
- 10区体制の見直し
- 教員の教育（チャレンジできるように）

《グループ3》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 子育てをしやすい（医療費免除等がある・使える）</li> <li>• 大きい病院がある</li> <li>• 街がきれい（ごみのポイ捨てが少ない）</li> <li>• 町全体で地元のサッカーチームを応援している</li> <li>• 文化教育がしっかりしている（図書館等が利用しやすい）</li> <li>• 図書館が多い</li> <li>• 教育に力を入れている市民が多い</li> <li>• 交通利便性の高さ</li> <li>• 都心へのアクセスがしやすい</li> <li>• 治安が良い</li> <li>• 南北の交通インフラが整っている</li> <li>• 歩道+街路樹がある</li> <li>• 住みやすい街</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 高齢化対策</li> <li>• 小さい病院が少なくなっている</li> <li>• 市の催しに対する情報発信量が少ない</li> <li>• 地域ごとや年齢間のコミュニティが希薄</li> <li>• 図書館の自由スペースが小さい</li> <li>• 海外の住民との付き合い方</li> <li>• 町の景観の改善</li> <li>• 東西への交通が不便なところがある</li> <li>• 公園が少ない</li> <li>• 人口の増加に伴う交通インフラの混雑への対応</li> <li>• 水害対策</li> </ul>
<b>必要な取組み</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 企業内保育園の活用</li> <li>• 大型マンションに保育園を併設</li> <li>• 簡易介護・放課後児童クラブ施設の増設（デイサービス、時間での簡易の子ども預かり所等）</li> <li>• 市からの情報を市民が受け取りやすくする取組</li> <li>• 外国人・高齢者に対する取組</li> </ul>	

- 各コミュニティ間の交流。情報の共有、教育
- 生活満足度のさらなる向上
- 各区の取組の充実と他の区への発信・共有
- イメージ改革
- PR 活動（住み心地）
- 交通インフラの整備（バス等の増便）
- 少子高齢化対策
- 治安の維持

《グループ4》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 交通利便性が高い</li> <li>• 豊かな自然と充実した市街地とのバランス</li> <li>• 都会でも田舎でもない</li> <li>• 災害に強い</li> <li>• 浸水しにくい地域（エリア）が多い</li> <li>• 医療費が15歳まで無料</li> <li>• 住み心地が良い</li> <li>• 市民が住みやすさを感じている</li> <li>• 学校教育が充実している</li> <li>• 学力水準が高い（市外からも集まってきている）</li> <li>• 図書館の数が多い</li> <li>• スポーツクラブとの交流</li> <li>• リサイクルやゴミに関してはすごいらしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 西浦和の魅力が乏しい</li> <li>• 道路が狭く、危険</li> <li>• 福祉施設に不満を感じている人がいる</li> <li>• 居住地域の文化財など知らないものが多い</li> <li>• 観光客数（2～3千人）が来訪しているというイメージが薄い</li> <li>• 学童の不足</li> <li>• 遊べる場所が少ない</li> <li>• 自然はあるが綺麗なイメージはない</li> <li>• 地域のつながりが薄くなってきた</li> <li>• イベントの認知度の低さ</li> <li>• 地盤産業の活性と創出</li> <li>• 教育者の確保と育成</li> <li>• 地域交流を図れる場所の提供</li> </ul>
<b>必要な取組み</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地味な駅を豊かにする</li> <li>• 生活・交通インフラの整備</li> </ul>	

- 中央線の無い道路は一方通行にする
- 外国人も過ごしやすい街づくり
- ブランディングと情報発信
- 市民への魅力の発信（発信方法のさらなる工夫）
- 「住みやすさ」を具体化し PR する
- さいたま市の名物的なスポットを作る
- 弱い既存のものを活かす（北区の盆栽など）
- 一区一点テーマを絞って PR
- 教員の育成・研修
- 教育・福祉・地域交流の受け皿を作っていく
- 若い世代への投資
- 将来への不安解消
- 福祉をもっと身近に
- 高齢者・障害者福祉の充実

## 《グループ5》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 住みやすい</li> <li>• 子育てしやすい</li> <li>• 教育意識の高さ</li> <li>• 都市と田舎のバランスがいい</li> <li>• 人の多さがちょうどいい</li> <li>• スーパーアリーナ、浦和レッズ等のイベントが多い</li> <li>• 東京・東北・北陸など交通の便がよい</li> <li>• 災害が少なく、将来にわたって安心に暮らすことができる</li> <li>• 治安が良い</li> <li>• 地理的利便性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 公共施設の老朽化</li> <li>• 保育問題</li> <li>• 住民に対して、保育園・学校の数が少ない</li> <li>• 緑の減少</li> <li>• 人口増加に伴う多様化に対応できるか不安</li> <li>• 地元でのアクティビティ機会、あるいはそのための場所が少ない</li> <li>• 場所によって、交通の利便性に差がある</li> <li>• 道路が狭い</li> <li>• 駅が使いにくい</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市外に魅力が伝わっておらず、資源を活かせていない</li> </ul>
必要な取組み	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校やイベントでの講師の活用</li> <li>・ 地元愛を育むような教育</li> <li>・ 保育園・幼稚園のあり方の見直し</li> <li>・ 歩道の緑道化</li> <li>・ 施設や緑地の整備</li> <li>・ 公共空間を使いやすく整備する</li> <li>・ 駅+駐輪場</li> <li>・ 東西方向の交通整備</li> <li>・ 観光資源の活用</li> <li>・ PR 活動</li> <li>・ ガイドマップの作成</li> </ul>	

### 《グループ6》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然豊か（見沼田んぼ）であり、公園も多い</li> <li>・ 交通利便性の高さ</li> <li>・ 大宮駅に様々な路線、新幹線の停車</li> <li>・ 災害に強く、災害が少ない</li> <li>・ 子育てのしやすさ</li> <li>・ 昔から継続している大規模な祭り</li> <li>・ 子育て支援が手厚い</li> <li>・ 医療費が中3まで無料</li> <li>・ 教育に熱心であり、学力が高い</li> <li>・ 文教都市として、他に先んじて取組</li> <li>・ 商業施設が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鉄道以外の移動手段の利用率・認知度</li> <li>・ 防災の個人意識が低い</li> <li>・ 高齢化への対応（孤独死、介護、再雇用、ユニバーサルデザイン）</li> <li>・ 犯罪への対応</li> <li>・ 子育て環境の整備</li> <li>・ 子どもが遊べる場所が少ない</li> <li>・ 病院が少ない（主に産婦人科、耳鼻科）</li> <li>・ 商店街の衰退、地元の商店街に活気がない</li> <li>・ 地場産業の保護・活用</li> <li>・ 地元住民同士のつながりの希薄化</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>• ビジネスの場としての可能性</li> <li>• サッカーのまち（浦和レッズ、大宮アルディージャ、埼玉スタジアム）</li> <li>• 環境意識の高さ</li> <li>• ごみ処理能力が高い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 訪日外国人への対応</li> <li>• リサイクル事業が周知されていない</li> <li>• さいたま市のブランド力の不足</li> <li>• 各区を繋ぐ要素の不足</li> </ul>
---	---

**必要な取組み**

<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自然の維持</li> <li>• 就農の推進（自然が多い場所への移住、体験プログラム）</li> <li>• 土地利用の明確化</li> <li>• 公園・広場など屋外スペースを使ったイベント・お祭り</li> <li>• コミュニティバスの増便、路線増加</li> <li>• 自転車専用道の整備</li> <li>• サイクリングコースを作る</li> <li>• 体育館やプールで運動会やレクリエーションなどのイベント</li> <li>• 保育士・学童保育士の待遇をよくする</li> <li>• キャリア教育の充実</li> <li>• 商店街の活性化</li> <li>• 地産地消の促進</li> <li>• 子どもから大人まで楽しめる施設</li> <li>• ごみ処理、リサイクル事業アピール</li> <li>• PR 方法の IT 化</li> <li>• 姉妹都市の共催イベント</li> <li>• 市民参加型のフォトジェニックスポット紹介等</li> <li>• 市による広告宣伝のバックアップ</li> </ul>
---

《グループ7》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 交通利便性が高い（特に都心へのアクセス）</li> <li>• 南北の交通利便性が高い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 交通事故が多い</li> <li>• 生活道路が狭い</li> <li>• 東西・地域間の交通利便性の拡充</li> </ul>



<ul style="list-style-type: none"> <li>• 都内への通勤が楽</li> <li>• 生活基盤がしっかりしている（ゴミ処理、安全性、防災など）</li> <li>• 居住環境が整っている</li> <li>• 生活に関する満足度が向上している</li> <li>• 買い物がしやすい</li> <li>• 学校教育がしっかりしており、教育水準が高い</li> <li>• 駅の近くに自然がある（例、大宮公園）</li> <li>• 都市と自然のバランスがよい</li> <li>• 都内より自然が豊か</li> <li>• しがらみのなさ</li> <li>• 市民の満足度が高い</li> <li>• プロスポーツチームがある（サッカーチームがある）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 子育ての支援（保育園、公園）</li> <li>• 高齢者福祉、障害者福祉が弱い</li> <li>• 市内での消費が少ない</li> <li>• 経済が活発でない</li> <li>• 「中小企業の支援」「新たな産業の創造」といった面が弱い</li> <li>• さいたまのイメージアップが必要</li> <li>• 住んでいる人の目が都内に向いていて、地域事業に興味がないのではないか？</li> <li>• さいたま市だから、という主だった特徴がない</li> <li>• 特色が分かりにくく、住民も知らない</li> <li>• どうやって地域愛を持ってもらうか</li> <li>• 観光客が少ない</li> </ul>
---	--

必要な取組み

<ul style="list-style-type: none"> <li>• 交通事故対策</li> <li>• 200万市民を目指す</li> <li>• 施設の老朽化対策</li> <li>• マイノリティの人も生きやすい環境づくり</li> <li>• 貧困家庭への支援</li> <li>• 高齢者は安心して暮らせる地域ネットワーク</li> <li>• 福祉のさらなる充実・強化</li> <li>• 子どもの成長をサポートする</li> <li>• 社会人の生涯学習の支援</li> <li>• 市内歩きタバコの全面禁止</li> <li>• 学校教育の満足度を上げる</li> <li>• 災害対策</li> <li>• 今ある施設をもっと活用する</li> <li>• さいたま市の資源を活用して事業をしようとする人の支援（企業）</li> </ul>
--

- さいたまブランドの確立
- プロスポーツの活用と連携

《グループ8》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 住みやすいと思う人が多い</li> <li>• 充実した施設がある（さいたまスーパーアリーナなど）</li> <li>• 商業施設が各所にあり便利</li> <li>• 生活しやすい</li> <li>• 安全（あまり変なところがない）</li> <li>• 治安が良い</li> <li>• 教育熱心なところ（文教区）</li> <li>• 職を選びやすく、職に困らない</li> <li>• 都心へのアクセスのしやすさ</li> <li>• 交通の便がよい</li> <li>• 東京に近く、便利</li> <li>• 政令指定都市としての優遇</li> <li>• ごみの回収が細かい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• イベントが少ない</li> <li>• 区役所の内外の設備が不十分な区がある</li> <li>• 病院が少ない</li> <li>• 大宮駅周辺の開発</li> <li>• 子どもの屋内遊び場の増加</li> <li>• 終電が早い</li> <li>• バスが少ない</li> <li>• 病院向けバス網の充実</li> <li>• 高齢者の意識向上（生きがい、マナー）</li> <li>• ヨーロッパ野菜の存在を市民が知らない</li> <li>• 保育・託児所の充実（小規模ばかり増えている）</li> </ul>
<b>必要な取組み</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 生活環境の整備（道路、自転車レーン、ごみの集積場など）</li> <li>• 行政の取組を積極的に発信</li> <li>• 公立教育の向上、治安向上</li> <li>• 海外、県内外からの観光客を増やす</li> <li>• （さいたま市に興味・関心を持たせる）教育・福祉の充実</li> <li>• バス網の充実</li> <li>• 交通・公共交通機関の利用マナーの教育を徹底</li> <li>• 大宮駅東口付近の整備（特に南館・北館のあたり）</li> <li>• さいたま市の魅力の発信</li> <li>• 道路の整備</li> </ul>	

- 大宮周辺の開発
- さいたま市の魅力を伝えるイベントの開催

《グループ9》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 駅、駅前が整備されている</li> <li>• 交通利便性が高い</li> <li>• スーパーアリーナ、さいたまスタジアムなどスポーツ文化の発信拠点がある</li> <li>• スポーツが盛ん</li> <li>• 自然が多く、街とのバランスが良い</li> <li>• 企業本社の転入超過数が高い</li> <li>• 災害に強い</li> <li>• 幸福度ランキング2位</li> <li>• 住み心地がよいと考える市民が多い</li> <li>• 都心に近い割に住宅価格が安い</li> <li>• 医療費が中3まで無料</li> <li>• 学校教育の充実</li> <li>• 小中学生が将来の夢を持っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 大宮駅周辺の開発</li> <li>• 歩道の整備</li> <li>• 道路整備（歩道、電柱の地中化）</li> <li>• バス本数、路線が少ない</li> <li>• 気軽にスポーツができない</li> <li>• ビジネスエリアとしての魅力が乏しい</li> <li>• ブランド力が弱い</li> <li>• 市の魅力をアピールできていない</li> <li>• 将来都市像のPR</li> <li>• 地域活動に参加する割合が低下</li> <li>• 学校内の整備</li> <li>• 子ども達が遊べる場所が少ないので増やす</li> </ul>
<b>必要な取組み</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 移住者の増加と維持</li> <li>• 企業誘致</li> <li>• 20年以上住んでいる者のケア</li> <li>• 5～10、10～20年未満の層を維持する取組</li> <li>• あまりに強すぎる「ムラ」社会を作らない</li> <li>• 道路整備の充実</li> <li>• 高齢者支援</li> <li>• 歩道の安全対策</li> </ul>	

- オフィスを増やす（コワーキングスペース等）
- 地域ブランディング
- 教育水準の向上

《グループ 10》

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 幅広い世代が住みやすさを実感</li> <li>• 地域の協力性が高い</li> <li>• 親切な人が多い</li> <li>• 図書館が多い</li> <li>• スポーツイベントが充実している</li> <li>• 交通の利便性</li> <li>• 交通が便利</li> <li>• 人の移動が容易</li> <li>• 鉄道が充実</li> <li>• 自然が多い</li> <li>• 都市部と緑地帯のバランスの良さ</li> <li>• 都市と自然の両方が身近にある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 若い層の自治会の参加率が低い</li> <li>• お年寄りだけの世帯への見守り</li> <li>• 人を育てる（生涯を通して教育を受ける）分野の強化</li> <li>• 人が培ってきたものを大事にする</li> <li>• 大宮駅の車やバスなどのホームが渋滞しやすい</li> <li>• お土産さんや物産店、ビジネスホテルが少ない</li> <li>• 駅から離れるとお店が少ない</li> <li>• 広報・PR 不足</li> </ul>
<b>必要な取組み</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• SNS で自治会などの意見交換をする</li> <li>• 自治会改善</li> <li>• 地域の中に集まれる場所を作る</li> <li>• 自治会の中でその地域に合ったものを考えてもらう</li> <li>• 歴史を大切にする</li> <li>• 地域の良さを育む</li> <li>• それぞれの地域の特性を活かす</li> <li>• 人を育てる（教育）の充実</li> <li>• 大きな施設に図書館だけでなく、郵便局など公的なものも一緒に</li> <li>• 2 都心 4 副都心構想の推進</li> <li>• アンテナショップの設置</li> <li>• 市としてのブランド力の発信</li> </ul>	

- さいたま市の名産物や特色をもっとアピール
- 高校生が小学生や中学生に勉強を教えたり、遊んだりする場を設ける

ご参加いただいた皆様、ご協力ありがとうございました。

